

# 自主シンポジウム：自殺予防について考える



## 私たちに いま何ができるのか

**開催日：2009年3月6日(金)**

**時 間：シンポジウム 17:00～(開場 16:30)**

**交流会 19:00～**

**場 所：同志社大学新町キャンパス  
臨光館 301 教室**

**参加費無料※  
当日参加 OK**

### シンポジウム

「自殺予防におけるソーシャルワークの視点と課題  
—産官民学の連携に向けて—」

コーディネーター：引土 絵未 (バザール・カフェ)

シンポジスト：大学院 GP 自殺予防プロジェクトから

市瀬 晶子 (同志社大学社会学研究科大学院生)

産業メンタルヘルスから

田邊 蘭 (保健同人社 ソーシャルワーカー)

京都府の自殺予防の取り組みから

姫野 紀代子 (京都府精神保健福祉総合センター)

自死遺族の立場から

石倉 紘子 (こころのカフェ きょうと)

コメンテーター：木原 活信 (同志社大学社会学部教授)

大倉 高志 (京都大学医学研究科大学院生)

※シンポジウム終了後に、簡単な交流会(会費 500 円/学生は無料)を予定しております。当日のご参加でもかまいませんので、お気軽にご参加ください。

※交流会のみ会費 500 円(学生無料)とさせていただきます。

京都府内での自殺者数における中高年の自殺の増加、非正規雇用者、派遣労働者の解雇など、勤労者の自殺予防対策は喫緊の課題となっています。

今回、京都を中心に活動する行政、企業、当事者、研究機関のそれぞれの立場から、自殺のリスクのある人やその家族、遺族の支援の取り組みをお話いただきます。

この機会を通して、自殺予防の実践、制度・政策の課題について、全人的な視点、連携、当事者による支援といったソーシャルワークの視点から議論を深め、自殺予防のセーフティネットづくりについて、みなさんと一緒に考えたいと思います。

亡くなるうとしている命を一人でもつなぐために、私たち一人一人が今何ができるのか、一緒に考えてみませんか？

主催：同志社大学社会福祉教育・研究支援センター 自殺予防研究プロジェクト (代表 木原活信)

協力：京都府精神保健福祉総合センター

# プログラム

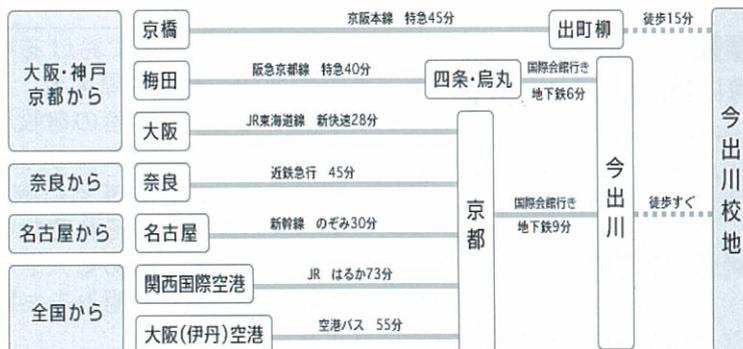
16:30	開場
17:00~	ご挨拶とご案内
17:05~	シンポジスト発表 およびコメント
18:15~	休憩
18:25~	質疑応答 ご挨拶
19:00	終了
19:00~	交流会 (交流会会場は同じフロア内の教室になります。)



## 会場までのご案内

会場：同志社大学 新町キャンパス 臨光館 301号教室

### 今出川駅までのアクセス



### 最寄り駅からのアクセス



会場は「新町キャンパス」になります。  
京都市営地下鉄「今出川」駅の2番出口が  
最寄りの出口です。

## お問い合わせ

シンポジウムその他についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

■シンポジウム運営事務局 (同志社大学社会学部社会福祉学科事務室内)

FAX: 075-251-3066

E-mail: esh3106@mail2.doshisha.ac.jp (担当: 山村)